

財界

Z A I K A I
a Japanese business biweekly

2023 1/11

掲 載

2023年をリードする企業

先例のない独創的な技術で 顧客の情報資産を守り抜く

ローレルインテリジェントシステムズ

SECURITY MAKES FUTURE

(安全と安心が、人と社会の未来をつくる)

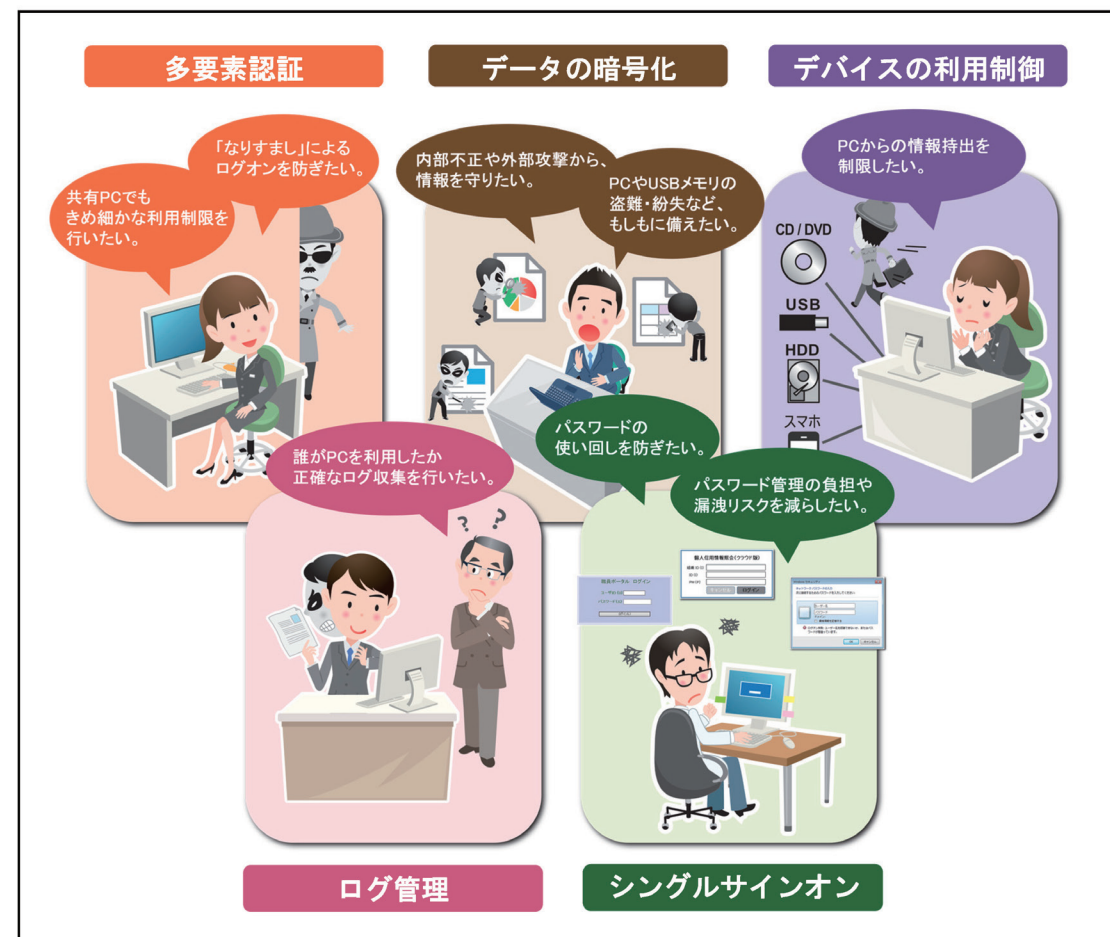
「セキュリティによる安全・安心が、わたくしたちの未来をつくる」という意味。

いまやセキュリティは、単に企業や組織の情報資産を守る楯ではなく、
未来に向けて、持続可能な社会づくりに貢献する強力な武器であることも訴求。

企業理念

誠意、熱意、創造の3つを合言葉に、21世紀の社会基盤となる情報システムの
セキュリティソリューションを提供することで、広く社会に貢献することを企業理念としております。

私どもの提供させていただくセキュリティソリューションによって、
皆様のより安全で安心な社会の実現を願っております。



株式会社ローレルインテリジェントシステムズ

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-1-10 第2 ローレルビル 1F

Tel : 03-5510-4711 Fax : 03-5510-3011

URL : <https://www.lis-fss.co.jp/>

お問い合わせ / Email : sales@lis-fss.co.jp



藤井幹雄社長

2000超の顧客が導入

同社が提供している「ファイルセキュリティシステム」(FSS)は、サーバーレスの多要素認証方式を備えたパッケージ製品で、自治体や金融機関、民間企業等2000超の顧客が導入。情報セキュリティへの危機意識が高まる中、幅広い業界・団体から問い合わせが増えているという。

「お客様の情報資産を守るには、内部漏えいと外部からの不正アクセス等への対策が必要です。弊社製品はICカードとパスワードを基本とする多要素認証と、暗号キー等の管理をカード内で行う独自の仕組みが最大の特長です」



指紋センサー搭載ICカードによるセキュリティ管理

- ②「データの暗号化」暗号キーがPCやサーバーにキャッシュされない仕組みなので、万が一不正侵入やPC等の盗難時にも機密情報等のデータ復元ができない。
- ③「デバイスの利用制御」ICカードごとに扱えるデバイスや機能を制限できるため、不正コピー・持ち出し対策や漏えい防止に有効。
- ④「ログ管理」いつ、誰が、何をしたのかを正確に記録し把握できるため、利用履歴が一目瞭然。共有PCでも利用者が明確となり、

先例のない独創的な技術で 顧客の情報資産を守り抜く ローレルインテリジェントシステムズ

独自開発の暗号技術と認証技術で他を圧倒

1989年12月設立の(株)ローレルインテリジェントシステムズは、情報セキュリティの基礎となる暗号アルゴリズムと鍵の管理技術、そしてICカードを利用した認証技術を独自に開発。以来、生体認証との連携も進め、不正アクセスや改ざん、漏えい等の予防に徹している。

パソコンに接続したリーダーライターのICカードを挿入し、パスワードを入力すれば、パソコンを操作できる。パスワード認証はカード内で実行され、連続6回の不正でカードが自動ロックされる。

つまり、ICカードとパスワードの二要素が揃って初めてパソコンの操作ができ、離席時にカードを抜けばパソコンにロックがかかり、不正利用や無権限者による閲覧等のリスクを大幅に低減。パスワードの代わりに指紋や指静脈など生体情報との組み合わせも可能だ。

パスワードや複数の暗号キーとして生体情報といった重要な情報を全てカード内で管理しているため、専用サーバー不要なシステム構築と運用が、もう一つの大きな特長。パソコン1台でも1万台以上でも簡単に導入でき、ネットワーク環境や既存のシステムを変更する必要もない。こんなケースもあったそう。A社では社員の個人情報や管理する人事部に導入し、利用する人事部の社員と管理者双方にも好評だったことから会社全体で導入。さらには役員用パソコンのみ「ICカード+指静脈認証」により厳格な認証にアップ。

FSS基本パッケージは以下の5点で構成されている。

- ①「ICカード+パスワードの多要素認証(オプションによる生体認証
- ②「データの暗号化」暗号キーがPCやサーバーにキャッシュされない仕組みなので、万が一不正侵入やPC等の盗難時にも機密情報等のデータ復元ができない。
- ③「デバイスの利用制御」ICカードごとに扱えるデバイスや機能を制限できるため、不正コピー・持ち出し対策や漏えい防止に有効。
- ④「ログ管理」いつ、誰が、何をしたのかを正確に記録し把握できるため、利用履歴が一目瞭然。共有PCでも利用者が明確となり、
- ⑤「シングルサインオン」複数のIDやパスワードはICカードから送られるため、覚えるパスワードはICカードのパスワード1つだけ。パスワードの使い回しを排除し、パスワード忘れや漏えいも予防。管理者が設定することで、社員には知らせない運用も可能。

情報セキュリティのプロ集団

同社が生まれた背景はこうだ。創業者の鳥飼将迪氏(現・相談役会長)が富士銀行(現・みずほ銀行)在籍時の1976年、紙幣バラ出し可能なオンライン現金自動支払機を企画し、開発をローレルバンクマシン(株)に委託。世界初の紙幣バラ出し型オンライン現金自動払出機を完成させる。一方で情報セキュリティの重要性に気づき、日本でも数少ない暗号研究者の平田耕三氏ら5人で同社を設立。

その後、金融機関向けシステム開発を行っていた藤井社長が、鳥飼社長(当時)との運命的な出会いから入社。常務取締役企画開発本部長等を経て、2012年5月社長に就



FSS基本パッケージのイメージ(指紋・静脈等の認証方法を容易に追加可能)

等)PCを使う個人を厳格に認証できるため、なりすましによるログオンや不正利用を排除。

「当時の私は寝ている時でもアイデアが思い浮かぶと枕もとにメモ用紙に書きつけるなど常にシステムのことを考えて、一時期片頭痛に悩まされたことがあります。でも今は仕事のオンオフを上手に切り替えることの大切さを社員に伝えていきます。コロナ禍で早くにテレワークを導入したことも幸いし、社員が仕事と家庭を両立させ、心身ともに充実した人生を送れるよう会社としてもバックアップしています」

果たして、同社が次にどのような製品やサービスを繰り出すのか、その動向から目が離せない。



FSSによるロック画面(イメージ)